2027年度

東北大学大学院
情報科学研究科

博士課程前期2年の課程
下期 学生募集要項
（2027年4月入学）

試験日程

【日程Ⅰ】2027年1月30日（土）～1月31日（日）

【日程Ⅱ】2027年3月2日（火）～3月4日（木）

所定の日程による試験実施が困難となるような不測の事態（自然災害等）が発生し，志願者への緊急の連絡が必要となった場合は，以下のウェブサイトでお知らせします。
https://sites.google.com/tohoku.ac.jp/gsis-exam/

2026年11月

２０２７年度
東北大学大学院情報科学研究科
博士課程前期２年の課程学生募集要項
（２０２７年４月入学）

試験日程　【日程Ⅰ】(1,5,6,7群)：２０２７年１月３０日（土）～１月３１日（日）
　　【日程Ⅱ】(2,3,4群)　：２０２７年３月２日（火）～３月４日（木）

２０２６年１１月

アドミッション・ポリシー

東北大学大学院情報科学研究科は，情報科学に関する高度な専門的知識・技能とそれらを支える学際性並びに数理科学的・社会科学的基礎を有し，社会のニーズを敏感に察知するとともに，自ら問題を発見し，実世界データサイエンスに関する諸問題の解決を文理融合の立場から具体的に推進しうる研究者，高度職業人の育成を目指します。本研究科が目指す新しい“情報科学”の創造に貢献できる人を育てるため，本研究科が培ってきた成果をさらに推し進めようとする学生，いくつかの分野にまたがった研究を積極的に進めようとする学生，すでに学んだところとは異なる分野の研究を志す学生，また，多様なバックグラウンドを有する外国人留学生や社会人などの受け入れを推進します。

具体的には，学際性並びに数理的基礎に支えられた専門的知識と技能をもって社会に貢献しうる高度職業人，さらには，学際科学の新たな発展に貢献する研究者を志す人を求めます。

このため，学生の受け入れにあたっては，一般選抜，早期卒業生選抜，社会人選抜，外国人留学生等選抜及び推薦入学特別選抜の区分を設けて入学試験を実施し，これらの教育理念・目標に沿った研究を行うために必要な高い能力と資質を備えているか否かを重視して選抜を行います。選抜は，研究科内の学術的専門性により 7 つの群に分けて行い，それぞれの群で，博士課程前期２年の課程，博士課程後期３年の課程のそれぞれにおいて，その特性に合わせて筆答試験，小論文，口述試験の中から適切な選抜方法を選択して設定することで行います。

（博士課程前期２年の課程）

一般選抜，早期卒業生選抜，外国人留学生等選抜では，専門的知識とその展開力を評価する筆答試験及び研究計画と研究意欲等に基づく口述試験等を行い，特に基礎学力を重視して選抜を行います。

社会人選抜では，社会人としての業務歴又は研究内容，基礎学力の評価等を総合的に重視して選抜を行います。

推薦入学特別選抜では，論理的思考力と文章表現力，研究計画と研究意欲等を評価し，特に論理的思考力を重視して選抜を行います。

なお，入学前に，専攻しようとする分野とその隣接分野に関して学部までに習得しておくべき基礎知識と，研究成果の発表を計画的に準備するために必要な技能を身につけておくことを希望します。

博士課程（後期）学生への総合的支援パッケージ

東北大学は、次代のイノベーションを担い世界で活躍する卓越した研究者の育成と、多様なセクターへの高度専門人材の供給を担うため、2026 年 4 月より博士課程学生への総合的な支援パッケージ『東北大学高等大学院 LEAP プログラム』を開始しました。

博士後期３年の課程すべての学生に対して、年額１２７万円以上の研究奨励費を支給する、特に優秀な学生を対象とする学位プログラム所属博士学生には、年額２４０万円の研究奨励費を支給するなど多様な支援を準備しています。ぜひ博士後期課程への進学という一歩を踏み出してください。詳細は以下ページをご確認ください。

https://pgd.tohoku.ac.jp/data/r7/LEAP20260306.pdf

１．募集する専攻及び選抜区分

専　　攻	募　集　人　員			
	一般選抜	早期卒業生選抜（注１）	社会人選抜（注２）	外国人留学生等選抜（注３）
情報基礎科学専攻	若干名	若干名	若干名	若干名
システム情報科学専攻				
人間社会情報科学専攻				
応用情報科学専攻				

（注１）　早期卒業制度による卒業者を対象とする選抜に出願できる者は、３年以上４年未満の在学をもって卒業を認められ、２．出願資格(1)に該当する者

（注２）　社会人選抜に出願できる者は、社会人（注４）であって、原則として２年以上の勤務歴を有し、２．出願資格のいずれかに該当する者（p.９参照）

（注３）　外国人留学生等選抜に出願できる者は、外国人留学生又は外国の大学において学校教育を受けた者（これらを「外国人留学生等」と総称する。）で２．出願資格のいずれかに該当する者

（注４）　ここでいう社会人とは、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として経験を有する者である。また、職歴がない場合にも、社会人となる場合があるので、情報科学研究科教務係に問い合わせること。

（注５）　**社会人及び外国人留学生等は、選抜区分に関わらず、事前に必ず配属を希望する研究室（分野）の受入れ予定教員に照会し、入学後の研究計画等について、確認を受けてください。**

２．出　願　資　格

入学志願者として出願できる者は、次のいずれかに該当するものとします。

(1) 大学を卒業した者（２０２７年３月までに卒業見込みの者を含む。）

(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（２０２７年３月までに学士の学位を授与される見込みの者を含む。）

(3) 外国において、学校教育における１６年の課程を修了した者（２０２７年３月までに修了見込みの者を含む。）

(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１６年の課程を修了した者（２０２７年３月までに修了見込みの者を含む。）

(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１６年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（２０２７年３月までに修了見込みの者を含む。）

(6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって我が国において、外国の大学の課程を有するものとして文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者（２０２７年３月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者を含む。）

(7) 専修学校の専門課程（修業年限が４年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（２０２７年３月までに修了見込みの者を含む。）

(8) 文部科学大臣の指定した者（昭和２８年文部省告示第５号参照）

(9) 学校教育法（以下「法」）第１０２条第２項の規定により他の大学の大学院に入学した者であって、本大学院において教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

(10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、２０２７年3月末日までに２２歳に達するもの

（注６） 法第１０２条第２項及び本学大学院通則第１１条第９号に定める「大学に３年以上在学した者、外国において学校教育における１５年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における１５年の課程を修了した者又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における１５年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本大学院において、所定の単位を優秀な成績で修得したと認めたもの」に関する出願資格については、適用しません。

（注７） 出願資格(6)によって出願しようとする者は、事前に情報科学研究科教務係に問い合わせてください。

（注８） 出願資格(9)又は(10)によって出願しようとする者は、事前に資格審査を行いますので、あらかじめ情報科学研究科教務係に照会し、本研究科が指定する書類を２０２６年１１月１６日までに提出してください。

３．オンライン出願手続方法及び出願期間

オンライン出願のおおまかな流れは、次のとおりです。

１　募集要項の確認・必要書類の取得



・本募集要項で、出願資格（１～２ページ）や提出書類（４～７ページ）等をよく確認してください。

・提出書類のうち「卒業（見込）証明書」、「成績証明書」等の証明書類は、事前に在籍（出身）大学等に発行を依頼してください。

２　検定料の支払い



・本募集要項５～６ページの指示に従い、ＡＴＭ(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、指定された銀行口座に振り込んでください。支払う際には所定の手数料がかかります（出願者負担）。

・振込後、ＡＴＭの利用明細（写）、インターネットバンキングの振込完了画面のコピー等、振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるものを「検定料納付確認書」に貼り付けてください。

【注】出願登録、検定料の納入だけでは、出願したことになりません。

３　ＴＡＯ出願登録サイトで出願登録



・The Admissions Office のウェブサイトにアクセスし、アカウント作成後、出願者の情報等の必要事項を入力してください。https://admissions-office.net/

・提出書類のうち、アップロード書類を登録してください。

・**登録後は、登録した内容は変更できません**。登録するときは、誤りのないように確認しながら慎重に行ってください。

・一時保存の機能がありますので、確認などに有効に利用してください。

・出願が完了すると、「出願完了のお知らせ」がメールに届きます。

４　出願書類の発送（１月８日（金）必着）



・提出書類のうち、郵送書類を「**速達・簡易書留**」で郵送してください。募集要項に記載された期日までに到着しない場合、出願は受け付けませんので、注意してください。

出願手続は、検定料の納入を経て、インターネット上での出願情報の登録、出願期間内に必要な出願書類を速達・簡易書留郵便で本学に発送（期間内必着）することで完了します。

検定料の納入及びインターネット上での出願情報の登録だけでは出願手続が完了しませんので注意してください。

志願者は、指定のオンライン出願システム The Admissions Office（以降、TAO システムと表記します。）を使って下記の手順に従い、出願期間内に出願手続きを行ってください。

【方法】

１．下記 URL にアクセスし、会員登録をクリックするとアカウント作成の画面が出ますので、必要事項を入力してアカウントを作成してください。
https://admissions-office.net/

２．アカウント作成後、上記 URL からメールアドレスとパスワードを入力してログインし、「募集検索」メニューを利用し「東北大学/情報科学研究科」を検索し、TAO システム及び下記の指示に従って出願してください。

３．出願に必要な書類は、以下の表のとおりです。TAO システムに入力またはアップロードする書類（A）と郵送で提出する書類（B）がありますので注意してください。なお、TAO システムへのアップロードの際に使用できるデータは、写真票のための写真ファイル及び PDF ファイルに限ります。

【出願期間】

（A）TAO システムでの出願期間

２０２６年１２月２４日（木）９：００から２０２７年１月８日（金）１６：００（日本時間）まで

（B）郵送提出書類の受付期間

受付期間：２０２６年１２月２４日（木）から２０２７年１月８日（金）まで（受付期間最終日必着）

郵 送 先：東北大学情報科学研究科教務係
〒980-8579　仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

〇すべての選抜に共通する事項

・郵送提出書類は、以下の表「No.９ 郵送書類提出用封筒」に同封のうえ、速達・簡易書留郵便で郵送してください。
・窓口で提出する場合は、以下の表「No.９ 郵送書類提出用封筒」に同封のうえ、上記受付場所に設置の出願書類受付用ボックス（受付時間：土・日曜日、祝日及び年末年始１２月２６日～１月３日を除く午前９時から午後４時３０分まで）に提出してください。
・同一志願者が今回の下期学生募集において日程Ⅰ及び日程Ⅱを併願することはできません。

※証明書は日本語又は英語で発行されたものを提出してください。

No.	提出書類等	摘　要	提出方法
1	**入学願書及び履歴書**	TAO システムの入学願書フォームに必要事項を入力してください。	A
2	**配 属 希 望 調 書**	TAO システムの配属希望調書フォームに必要事項を入力してください。 ・一般選抜または早期卒業生選抜の受験生は、第１～７群のなかで希望する群を１つ選び、その選んだ群のなかから希望する研究室番号を選択して記入してください。最大で第３希望まで選択可能です。 ・外国人留学生等選抜または社会人選抜の受験生は、第１希望しか選択できません。第２希望以降は記入しても無効となります。	A

3	**写　　真　　票**	TAO システムの写真票フォームに必要事項を入力してください。 ・正面向・上半身・無帽・無背景の３か月以内に撮影したカラー写真（縦４：横３の比率） ・アップロードできるファイルの拡張子は.jpeg .jpg で、ファイルサイズの上限は２０MB です。	A
4	**卒業（見込）証明書 又は 学位授与(見込)証明書 若しくは 学位授与申請(予定)証明書及び修了(見込)証明書**	出身大学の学長又は学部長の発行する卒業（見込）証明書、又は大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与（見込）証明書、若しくは短期大学長又は高等専門学校長の発行する学位授与申請（予定）証明書及び最終出身学校等の長の発行する修了（見込）証明書 外国の大学が出身の場合は、取得した（取得する）学位がわかるものを提出すること。	B
5	**成　績　証　明　書**	出身大学の学長又は学部長、又は最終出身学校等の長が発行したもの。 高等専門学校専攻科に在籍している者は，学科在籍期間の成績証明書を、高等専門学校本科から大学の学部３年次編入学をした者は高等専門学校本科期間の成績証明書をあわせて提出してください。 ＊機械・知能系群（３群）を志願する者のうち、本学工学部機械知能・航空工学科を卒業（見込）でない者は、GPA 付の成績証明書を提出してください。GPA 付の成績証明書を提出できない場合は，教務係までお問い合わせください。	B
6	**英語スコアシート** **有効となる試験** **・TOEFL iBT® Test（Home Edition の扱いは群により異なる）** **・TOEIC® Listening & Reading 公開テスト** **以下のいずれかの書類を提出すること。(注9)** **・TOEFL®Test Taker Score Report**（受験者用控えスコア票） **・TOEIC®Test Official Score Certificate**（公式認定証） **・TOEIC デジタル公式認定証** ※提出しない場合の英語の評価は0点となる。（ただし、機械・知能系群（3群）の希望者は提出が必須要件。）	情報・生命系群（２群）、機械・知能系群（３群）、土木工学群（４群）、言語・メディア群（５群）、心理・哲学群（６群）及び社会科学群（７群）の一般選抜、早期卒業生選抜及び外国人留学生等選抜の志願者は、入学試験初日から過去２年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test スコアシートを TAO システムにアップロードしてください。 TOEFL iBT® Home Edition の扱いは群により異なります。 英語を母語とする学生は、願書受付期間最終日２日前までに情報科学研究科教務係へ問い合わせてください。	
		TOEFL®Test Taker Score Report（受験者用控えスコア票）を TAO システムにアップロードし、米国 ETS から本研究科に願書受付期間最終日２日前までにオンラインスコアが到着するように手配してください。 本研究科 DI コード：2149	A
		TOEIC®公開テスト（海外で受験した者） Official Score Certificate（公式認定証）を TAO システムにアップロードし、原本を郵送で提出してください。	A と B
		TOEIC®公開テスト（日本国内で受験した者） TAO システムに「TOEIC デジタル公式認定証」の URL をコピー＆ペーストしてください。また、「TOEIC デジタル公式認定証」をアップロードしてください。	A
7	**検　　定　　料** **３０，０００円を１月８日までに右記により支払いのうえ、「検定料納付確認書」を提出すること。**	①下記URLから所定の検定料納付確認書ファイルをダウンロードしてください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html ②検定料は、ＡＴＭ(金融機関、コンビニエンスストア)やインターネットバンキング等をご利用のうえ、下記により納入し、ＡＴＭの利用明細（写）又はインターネットバンキングの振込完了画面のコピー（振込先口座情報、金額、振込日、振込依頼人名等がわかるもの）を検定料納付確認書に貼り付けてください。	A

		※振込依頼人名は、必ず志願者本人のカナ氏名としてください。 ※振込手数料は、志願者本人負担となります。 金　　額：３０，０００円 納入期限：１月８日【期限厳守】 銀　　行：三菱ＵＦＪ銀行 銀行コード：０００５ 支　　店：わかたけ支店 支店コード：８０９ 預金種別：普通 口座番号：２２５９３９１ 口座名義：国立大学法人東北大学 カ　　ナ：ﾀﾞｲ)ﾄｳﾎｸﾀﾞｲｶﾞｸ ③大学院入学後も引き続き国費外国人留学生であるため延長申請を行う者（申請予定の者を含む）又は入学検定料免除申請者は納付不要です。 災害の被災者に対する入学検定料の免除については、本研究科ウェブサイトをご参照ください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html ④海外在住の方は、事前に情報科学研究科教務係までご連絡ください。	
8	**住民票（在留資格が明記されたもの）**	日本に在留する外国人(在留期間が９０日を超える者)のみ提出。市区町村長の発行のもので３か月以内に発行されたもの。	B
9	**郵送書類提出用封筒**	市販の角形２号封筒（約 24cm×約 33cm）を準備のうえ、下記 URL から所定のあて名票ファイルをダウンロードし、必要事項を記入・カラー印刷のうえ、封筒の表に貼り付けてください。https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html	B
10	**受　入　承　諾　書** **（機械・知能系群（３群）の研究室を第１希望に選択した者のみ）**	機械・知能系群（３群）の研究室を第１希望に選択した場合は、下記 URL から所定の「受入承諾書」をダウンロードし、受入予定教員に作成してもらったものを提出してください。ただし本学工学部機械系５コース（機械システム，ファインメカニクス，ロボティクス，航空宇宙，機械・医工学の各コース）に在籍している者もしくは卒業した者は不要です。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html （受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの）	A
11	**そ　の　他**	１）　学力を表す論文・報告書等がある場合は提出すること。なお、言語・メディア群（５群）を志望する者（社会人選抜志願者を除く）は、研究計画書（A4 判用紙 2 枚程度）、および、卒業論文（提出予定のものを含む）の写しを提出のこと（日本語あるいは英語以外の言語で書かれたものについては、日本語あるいは英語で書かれた要旨を合わせて提出のこと）。卒業論文に代えて研究論文（日本語の場合 10,000 字程度、英語の場合 A4 判用紙 10 枚程度）を提出しても構わない。	A 又は B
		２）　社会人（注４）または外国人留学生等（注３）が**一般選抜**へ出願する場合のみ、下記 URL から所定の「確認書」をダウンロードし、第１希望の受入予定教員に作成してもらったものを提出してください。 https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html （受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの） ただし、**一般選抜**または**早期卒業生選抜**で、情報・生命系群（２群）の研究室を第１希望に選択した外国人留学生は、第２～３希望の受入予定教員が作成した「確認書」も提出してください。	A

提出方法（A）TAO システムに入力またはアップロードする書類
（B）郵送で提出する書類

TOEFL,TOEFL iBT, TOEFL ITP および TOEIC はエデュケーショナル・テスティング・サービス(ETS)の登録商標です。

（注９）TOEFL iBT® Test および TOEIC®Listening & Reading 公開テストのいずれかの試験の成績を採用します。**団体受験用の TOEFL ITP® Test および TOEIC® IP Test は認めません。**タイプの異なる複数の試験のスコアを提出することもできます。出願時（願書受付期間最終日まで）に提出しない者は、英語の評価は 0 点となります。（ただし、機械・知能系群（３群）は提出が必須要件です。）TOEFL iBT® Test については、『Test Date スコア』のみを出願スコアとして利用します。（『MyBest™スコア』は利用しません）

なお、提出が必要な志願者は次のとおりです。詳細は、**p. 12～（日程Ⅰ）及び p. 17～（日程Ⅱ）**を参照してください。

・情報・生命系群（２群）、機械・知能系群（３群）、土木工学群（４群）、言語・メディア群（５群）、心理・哲学群（６群）、社会科学群（７群）：一般選抜、早期卒業生選抜及び外国人留学生等選抜の志願者

ただし、２群、３群、４群、５群、６群及び７群については、英語を母語とする志願者は願書受付期間最終日２日前までに情報科学研究科教務係へ個別に問い合わせてください。

◎ 社会人選抜及び外国人留学生等選抜の志願者は、上記書類のほか、それぞれ次の書類を提出してください。

〔社会人選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘　要	提出方法
1	**受　験　許　可　書**	有職者のみ。所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。	A
2	**在　職　証　明　書**	在職期間、職務内容、身分を記載し、所属長の発行したもの（社印等のあるもの・様式任意）。	A
3	**受　入　承　諾　書**	下記 URL から所定の受入承諾書をダウンロードしてください https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html （受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの）。	A
4	**志　願　理　由　書**	関心をもつ分野、研究計画、将来の目標等（A4 判用紙に記載したもの）。	A
5	**卒　業　論　文　等**	卒業論文、大学等における研究内容又は勤務先での業務内容等（A4 判用紙に記載したもの）。	A 又は B

〔外国人留学生等選抜志願者〕

No.	提出書類等	摘　要	提出方法
1	**受　入　承　諾　書**	下記 URL から所定の受入承諾書をダウンロードしてください https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/entrance/exam.html （受入れ予定教員が作成し、自署又は押印したもの）。	A
2	**推　　薦　　書**	出身大学の指導教員またはそれに準ずる者が作成した推薦書（様式任意）。ただし、日本国内の大学等を卒業した者又は２０２７年３月までに卒業見込みの者は、提出する必要はない。	A
3	**国費外国人留学生証明書**	他大学に在籍している国費外国人留学生のみ（在籍大学の発行する証明書）。	B
4	**受　験　許　可　書**	有職者は、所属長の発行したもの。（社印等のあるもの・様式任意）。	A

提出方法（A）TAO システムにアップロードする書類

（B）郵送で提出する書類

４．選　抜　方　法

入学者の選抜は、原則として、筆答試験（社会人選抜は小論文等）、口述試験、成績証明書及

びその他の提出書類を総合して判断します。

ただし、筆答試験、小論文試験を実施しない群もありますので、p.12～の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を確認してください。

1）　一般選抜、早期卒業生選抜及び外国人留学生等選抜

志願者は、「研究室（分野）一覧」（**p. 24～p. 26**）及び本研究科ウェブサイト（https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/）を参照して配属希望順位１位の研究室（分野）を選択し、その研究室（分野）の専門試験科目群の筆答試験と口述試験を受験してください。（※印参照）（筆答試験を実施しない群もあります。）

群番号、研究室番号及び専攻の対応は、表－１のとおりです。

また、各専門試験科目群の試験内容は、**p. 12～（日程Ⅰ）及びp. 17～（日程Ⅱ）**に記載のとおりです。

表－１

専門試験科目群		研究室番号	専攻
群番号	名称		
1	数学群	A01-1, A01-2, A02-1, A02-2, A03, A04	情報基礎科学専攻
		B01-1, B01-2, B02-1, B02-2, B03	システム情報科学専攻
2	情報・生命系群	A05, A08, A09, A10, A11, A13, A14, A16, A18-1, A18-2, A21, A22	情報基礎科学専攻
		B04, B05, B06, B07, B08, B11, B12-1, B12-2, B13, B15, B16	システム情報科学専攻
		D04, D07-1, D07-2, D08-1, D08-2, D10, D11, D13-1, D13-2, D15, D16	応用情報科学専攻
3	機械・知能系群	A06, A12, A15-1, A15-2, A19-1, A19-2	情報基礎科学専攻
		B09, B10-1, B14, B17, B18	システム情報科学専攻
		D03, D09-1, D09-2, D14	応用情報科学専攻
4	土木工学群	C11-1, C11-2, C12-1, C12-2, C13-1, C13-2	人間社会情報科学専攻
5	言語・メディア群	C01, C06, C14, C15-1, C15-2	人間社会情報科学専攻
6	心理・哲学群	C02, C03, C05, C17, C18	人間社会情報科学専攻
		D06	応用情報科学専攻
7	社会科学群	C07, C08, C09, C10	人間社会情報科学専攻

※上記のほか、以下の受験方法を選択することができます。<u>この受験方法を希望する者は、２０２６年１１月１６日までに必ず情報科学研究科教務係及び配属を希望する研究室の受入れ予定教員に問い合わせてください。</u>

筆答他群受験　筆答試験は、他の専門試験科目群で受ける。
（希望理由によっては許可されない場合もあります。）

・試験日程Ⅰに属する群（1, 5, 6, 7 群）の志願者は、筆答試験受験群として試験日程Ⅱに属する群（2, 3, 4 群）を選択することはできません。
同様に、試験日程Ⅱに属する群（2, 3, 4 群）の志願者は、筆答試験受験群として試験日程Ⅰに属する群（1, 5, 6, 7 群）を選択することはできません。

・数学群（１群）は筆答試験を実施しないため、筆答試験受験群として数学群を選択することはできません。また、数学群の入学志願者は、この受験方法を選択するこ

とはできません。
・言語・メディア群（５群）は筆答試験（専門科目）を実施しないため、筆答試験受験群として言語・メディア群を選択することはできません。また、言語・メディア群の入学志願者は、この受験方法を選択することはできません。

２）社会人選抜

社会人選抜は、官公庁・学校・企業等の技術者・教員・研究者等として、原則として２年以上勤務した経験がある者を対象とします。社会人が職場での経験を勉学・研究に生かすとともに、さらにその知識・技術をリフレッシュし、あるいは新たな分野の知識・技術を修得し、創造的能力を発展させることを目的としています。

選抜に当たっては、原則として小論文、口述試験及び提出書類の審査によって社会人としての業務歴又は研究内容、基礎学力の評価等を総合的に判断します。（小論文試験を実施しない群もあります。）また、専攻しようとする研究分野とこれまでの業務歴・研究歴との関係を重視します。

各専門試験科目群の試験内容は、**p. 16（日程Ⅰ）及びp. 23（日程Ⅱ）**に記載のとおりです。

５．試験日程及び試験会場

(1) 選抜試験日程

日程Ⅰにおいては２０２７年１月３０日から１月３１日までの間に、
日程Ⅱにおいては２０２７年３月２日から３月４日までの間に、
p. 12～p. 23の日程により、専門試験科目群ごとに行います。

(2) 試験会場及び試験日時

試験会場及び詳細については、TAO システムにより受験票を送付する際にお知らせします。
試験日時等については、後掲（**p. 12～**）の「専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容」を参照してください。

６．合格者の発表

日程Ⅰにおいては２０２７年２月５日午後５時頃に、
日程Ⅱにおいては２０２７年３月９日午後５時頃に、
合格者の受験記号番号を本研究科ウェブサイト（https://www.is.tohoku.ac.jp/）
に掲載し、合格者に対しては、後日 TAO システムにより合格通知書を送付します。

７．長期履修学生制度の適用

本研究科では、職業を有している等の事情（注１０）によって、標準修業年限である２年を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、修了する（注１１）ことを願い出た者については、審査の上、許可することがあります。この制度の適用者は「長期履修学生」といいます。

この制度に関する照会は随時受付けますが、適用申請方法等については、合格者発表後に送付する入学手続に関する書類で通知します。

（注１０）該当者：　①企業等の常勤の職員及び自ら事業を行っている者
②出産、育児、介護等を行う必要のある者
③その他、本研究科が適当と認める者

（注１１）在学年限は４年を超えることはできません。ただし、許可された在学年限の短縮を願い出ることはできます。なお、長期履修学生のためのカリキュラムは、原則として特別に用意はしません。

８．入　学　手　続

合格者には、入学手続の案内を郵送します。
手続期間は、２０２７年３月１０日から３月１５日です。（土日除く）

９．必　要　経　費

(1) 入学料　　282,000 円（予定額）

(2) 授業料

日本人学生等　：半期分 267,900 円（年額 535,800 円）（予定額）

外国人留学生※：半期分 450,000 円（年額 900,000 円）（予定額）

※出入国管理及び難民認定法（昭和二十六年政令第三百十九号）別表第一の四の表の留学の在留資格をもって在留する者をいう。

別表第一の四の表（抜粋）

在留資格	本邦において行うことができる活動
留学	本邦の大学、高等専門学校、高等学校（中等教育学校の後期課程を含む。）若しくは特別支援学校の高等部、中学校（義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程を含む。）若しくは特別支援学校の中学部、小学校（義務教育学校の前期課程を含む。）若しくは特別支援学校の小学部、専修学校若しくは各種学校又は設備及び編制に関してこれらに準ずる機関において教育を受ける活動

（注１２）上記の納付金額は予定額であり、納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

（注１３）東北大学在学中の授業料は、指定銀行の預金口座からの自動引落しにより、大学に納付していただきます。

１０．外国人留学生対象の奨学金について

東北大学では、既存の経済的理由による授業料等免除制度は２０２６年度をもって終了し、２０２７年度より、外国人留学生を対象とした奨学金を新設します。

その奨学金は、博士課程前期２年の課程及び学士課程の外国人留学生が対象で、入学試験の成績又は学業成績等に基づき選考した上位３分の１程度の者を対象として、授業料相当額又は授業料半額相当額の奨学金を給付します。

１１．注　意　事　項

(1) 出願後は、出願取下げ、出願書類の内容変更は認めません。また、出願書類及び検定料は返付しません。

(2) 出願書類に虚偽の申告をした者については、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(3) 入学前に重大な不祥事・迷惑行為等を起こし、またはこれらに関与した場合には、合格を取り消すことがあります。入学後であっても、同様の理由により入学許可を取り消すことがあります。

(4) 受験票は、TAO システムからダウンロードしてください。試験日７日前になってもダウンロードできない場合は、情報科学研究科教務係に問い合わせてください。

(5) 受験及び修学上の配慮を必要とする入学志願者のための相談を行っていますので、相談を希望する者は、次の事項を記載した申出書を提出してください。申出書の様式は情報科学研究科教務係に問い合わせてください。申出書の提出を理由として、合否判定の際に不利に扱われることはありません。

＊相談の期限：２０２６年１１月１６日まで

＊申出書に記載する内容

① 相談者の氏名・住所・電話番号
② 出身大学等
③ 受験上配慮を希望する事項
④ 修学上配慮を希望する事項
⑤ これまで認められたことのある配慮の内容
⑥ 日常生活の状況
⑦ その他参考となる資料（現に治療中の者は、医師の診断書を添付）

(6) 情報科学研究科の入学試験成績開示は本学情報公開室が対応窓口です。
https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html

(7) 個人情報の取り扱いについて

① 本学が保有する個人情報は，「個人情報の保護に関する法律（平成 15 年法律第 57

号)」等の法令を遵守するとともに，「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき厳密に取り扱い，個人情報保護に万全を期しています。

② 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は，入学者の選抜，入学手続，入学前教育，追跡調査等，入学後の学生支援関係（奨学・授業料免除及び健康管理等），修学指導等の教育目的及び授業料徴収等の関係，並びに調査・研究(入試の改善や志望動向の調査・分析等。入学者については、入学後の個人情報と併せて分析することを含みます。)に利用します。

③ 入試・教務関係の業務については，本学から業務委託を受けた業者（以下「受託業者」という。）が行うことがあります。業務委託に当たって個人情報の全部又は一部を受託業者に提供する場合には、「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」等本学の関係規程に基づき適切な取扱いがなされるよう、必要な措置を講じます。

(8) 教育・学習データ利活用について

本学では，教育・学習活動において情報システム等に蓄積された個人情報を含むデータ（以下，「教育・学習データ」という。）を最新のデータ解析やＡＩ技術を用いて分析し，エビデンスに基づいた教育を実施していくことが重要と考えています。

そのため，「教育・学習データ利活用宣言」，「東北大学教育・学習データ取扱８原則」，「教育・学習データ利活用ポリシー」を定め，教育・学習データを有効かつ適正に利活用し，本学における教育・学習支援の充実・改善を図るとともに国民と人類の福利に貢献していきます。

入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報は、入学後、教育・学習データに統合して取り扱います。

URL：https://www.tohoku.ac.jp/japanese/studentinfo/education/08/education0801/

(9) 本学では、外国為替及び外国貿易法に基づき、国立大学法人東北大学安全保障輸出管理規程を定め、外国人留学生等の受入れに際し審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究テーマに制約がかかる場合があります。

２０２６年１１月

東北大学大学院情報科学研究科
〒980-8579　仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09
電話（０２２）７９５－５８１４
e-mail: is-kyom@grp.tohoku.ac.jp
https://www.is.tohoku.ac.jp/

【予告】重要なお知らせ（７群を希望するみなさまへ）

社会科学群（７群）では、２０２８年から毎年１月下旬に実施する入学試験の一般選抜、外国人留学生等選抜、社会人選抜において、次のとおり選抜方法を変更する予定です。

１．２種類の口述試験をそれぞれ実施する。

（１）口述試験１

志望する指導教員による個別または集団試験。志望する研究室の専門分野に関連する基礎知識、思考力、表現力を問う総合的な内容。部分的に筆記試験を実施する場合もある。

（２）口述試験２

出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（作成中も含む）について 15 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）、10 分程度で試問する。

２．１．（１）に記載してある場合を除き、筆答試験の専門科目または小論文は実施しない。

１０月入学制度について

一般、社会人、外国人留学生等入学志願者に対する１０月入学制度についての募集要項は、その他の学生募集要項とともに、２０２７年６月上旬に発表する予定です。

専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容

【日程Ⅰ】：２０２７年1月３０日～３１日

【日程Ⅰ】
２０２７年4月
前期２年の課程　**一般選抜及び早期卒業生選抜**

※　各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

	群番号1　　数学群
口述試験	1月３０日　開始時刻については別途連絡する。 出身大学における卒業研究（予定）の内容又は主として研究した数学の分野について 15 分程度で発表する（PC プロジェクター使用可）。 希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。 以下の書類各 5 部を当日持参すること： ・日本語による発表内容の概要（A4 版用紙 1 ページ程度） ・英語による発表内容の概要（A4 版用紙 1 ページ程度） ・入学後に希望する研究テーマの概要（日本語で A4 版用紙 1 ページ程度）

	群番号5　　言語・メディア群
筆答試験 **※**	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートは認める。
口述試験	1月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容、卒業論文・研究論文の内容および入学後の研究計画について 30 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）、25 分程度で試問する。研究計画は、以下の専門分野に関するものとする。 言語系:統語論・形態論、意味論、歴史言語学、計算言語学 メディア系:メディア研究、文化研究、情報リテラシー論、教育工学 なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図版等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 4 部持参すること。

	群番号6　　心理・哲学群
筆答試験 **※**	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。
	専門科目　　1月３０日　１０：００～１３：００ 心理学（神経・生理、感覚・知覚、認知、学習・記憶、言語・思考、心理統計）、哲学に関する 12 題の中から 4 題選択。 ただし、心理群（認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学）、哲学群（世界哲学、哲学的論理学、論理分析学）のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から少なくとも 3 問を選択すること。
口述試験	1月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）について 20 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図表等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。

	群番号７　　社会科学群
筆答試験 **※**	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。
	専門科目　　１月３０日　１０：００～１３：００ 以下のうち、１つの学系を選択 社会学系：社会学理論、地域社会学、市民社会論、社会調査法を範囲とする 4 問題から 2 問題選択 政治学系：現代政治論、政治学方法論、比較政治学、政治意識論を範囲とする 4 問題から 2 問題選択 経済学系：ミクロ経済学、応用経済学、統計学、経済数学を範囲とする 4 問題から 2 問題選択 必要に応じて電卓を出題者が用意する。 ※受験する学系（社会学系、政治学系、あるいは経済学系）を願書の専門試験科目群名（社会科学群）と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。
口述試験	１月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）について 20 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。10 分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図面等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。

【日程Ｉ】
２０２７年４月
前期２年の課程　**外国人留学生等選抜**

※　各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

	群番号１　　数学群
口 述 試 験	１月３０日　開始時刻については別途連絡する。 出身大学における卒業研究（予定）の内容又は主として研究した数学の分野について 15 分程度で発表する（PC プロジェクター使用可）。 希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。 以下の書類各 5 部を当日持参すること： ・英語による発表内容の概要（A4 版用紙 1 ページ程度） ・入学後に希望する研究テーマの概要（日本語又は英語で A4 版用紙 1 ページ程度）

	群番号５　　言語・メディア群
筆 答 試 験 **※**	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。
口 述 試 験	１月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容、卒業論文・研究論文の内容および入学後の研究計画について 30 分程度で発表する（PC プロジェクター使用可）、25 分程度で試問する。研究計画は、以下の専門分野に関するものとする。 言語系:統語論・形態論、意味論、歴史言語学、計算言語学 メディア系:メディア研究、文化研究、情報リテラシー論、教育工学 なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図版等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 4 部持参すること。

	群番号６　　心理・哲学群
筆 答 試 験 **※**	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。
	専門科目　　１月３０日　１０：００～１３：００ 心理学（神経・生理、感覚・知覚、認知、学習・記憶、言語・思考、心理統計）、哲学に関する 12 題の中から 3 題選択。 ただし、心理群（認知情報学、学習心理情報学、認知心理情報学、コミュニケーション心理学）、哲学群（世界哲学、哲学的論理学、論理分析学）のそれぞれの志望者は、それぞれ問題冊子に指定された問題から選択すること。
口 述 試 験	１月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）について 20 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図表等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。

	群番号７　　社会科学群
筆答試験 ※	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアシートも認める。
	専門科目　　１月３０日　１０：００～１３：００ 以下のうち、１つの学系を選択 社会学系：社会学理論、地域社会学、市民社会論、社会調査法を範囲とする 4 問題から 2 問題選択 政治学系：現代政治学、政治学方法論、比較政治学、政治意識論を範囲とする 4 問題から 2 問題選択 経済学系：ミクロ経済学、応用経済学、統計学、経済数学を範囲とする 4 問題から 2 問題選択 英語で解答することもできる。必要に応じて電卓を出題者が用意する。 ※受験する学系（社会学系、政治学系、あるいは経済学系）を願書の専門試験科目群名（社会科学群）と併せて記入すること。出願後に受験する学系を変更することは認めない。
口述試験	１月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）について 20 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。10 分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図面等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。発表は英語で行うこともできる。

【日程Ｉ】
２０２７年４月
前期２年の課程　**社会人選抜**

※　各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

	群番号１　　数学群
口 述 試 験	１月３０日　開始時刻については別途連絡する。 勤務先において又は個人で主として研究した数学の分野について 20 分程度で発表する（PC プロジェクター使用可）。 希望する研究分野についての基礎学力、関連事項の理解度を確認する試問を含む。 以下の書類各 5 部を当日持参すること： ・日本語による発表内容の概要（A4 版用紙 1 ページ程度） ・英語による発表内容の概要（A4 版用紙 1 ページ程度） ・入学後に希望する研究テーマの概要（日本語又は英語で A4 版用紙 1 ページ程度） ただし、日本語を母語としないものは、日本語による発表内容の概要は必要ない。

	群番号５　　言語・メディア群
口 述 試 験	１月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学・勤務先における研究（業務）内容および今後の研究計画について 30 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）し、その内容について 25 分程度で試問する。研究計画は、以下の専門分野に関するものとする。 言語系:統語論・形態論、意味論、歴史言語学、計算言語学 メディア系:メディア研究、文化研究、情報リテラシー論、教育工学 なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図版等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 4 部持参すること。

	群番号６　　心理・哲学群
小　論　文	１月３０日　１０：００～１１：３０ テーマは当日提示する。
口 述 試 験	１月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 勤務先における研究（業務）内容及び入学後の研究計画を 20 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図表等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。

	群番号７　　社会科学群
小　論　文	１月３０日　１０：００～１３：００ 試験時に指示される課題から 1 題を選択し小論文を作成すること。 社会学・政治学・経済学の範囲から希望研究分野に関連した課題が出題される。
口 述 試 験	１月３０日又は３１日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 勤務先における研究（業務）内容を 20 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。10 分程度で試問する。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨・図面等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。

専門試験科目群毎の試験日時及び試験内容

【日程Ⅱ】：２０２７年３月２日～３月４日

【日程Ⅱ】
２０２７年４月
前期２年の課程　**一般選抜**

※　各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

	群番号２　　情報・生命系群
筆答試験 **※**	英　　語 入学試験初日から過去２年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートを出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report（受験者用スコアレポート）であり、TOEIC®Test の場合は Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）である。TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。 TOEFL®Test Taker Score Report を送付する場合は、願書受付期間最終日 2 日前までに、志願者がスコアを本研究科に直送するよう各自受験者専用サイト ETS アカウント（My TOEFL Home）上で依頼すること（送付のための本研究科 DI コードは 2149）。
	基礎専門科目　　３月２日　９：４０～１１：２０（集合時間　９：００） 物理・情報系：電磁気学、電気回路、計算機ハードウェア、計算機ソフトウェア、物理、数学基礎の 6 題から 2 題選択 医学・生物系：バイオインフォマティクス、分子生物学、健康科学の 3 題から 2 題選択
	注）受験する系（物理・情報あるいは医学・生物）を願書の専門試験科目群名（情報・生命系群）とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当（TEL:022-795-7185）に照会するか、あるいは https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ のウェブサイトで確認すること。
口述試験	３月２日又は３月３日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 （成績証明書の内容によって口述試験を免除することがある） 卒業論文（作成中のものも含む）の内容、入学後の研究希望等について 10 分程度で発表。（入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要）

	群番号３　　機械・知能系群
筆答試験 **※**	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアも認める。 スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートを提出できない場合は、出願を受理しない。指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。
	機械工学において必要とされる数学の基礎的知識を問う。 主たる範囲は以下のとおり。 ・数 学 Ａ　　３月２日　９：３０～１０：３０（集合時間 ８：５０） 微積分、線形代数、ベクトル解析、など ・数 学 Ｂ　　３月２日　１３：００～１４：００ 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換、など
	備考： (1) 各科目の出題範囲については、工学研究科機械・知能系教務担当（TEL:022-795-7030）に照会するか、あるいは以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.mech.tohoku.ac.jp/examination/ (2) 電卓及び計算機能、通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。
	注意：成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口述試験	３月４日（対象者のみ） 原則として口述試験は実施しない。ただし、研究室への配属調整が必要な場合等には、３月４日に面接（オンライン）を実施する。 面接の対象となる者には、３月３日に連絡を行うため、当日の連絡および３月４日の予定には十分留意すること。

	群番号４　　土木工学群
筆答試験 **※**	英　　語 　入学試験実施日から過去２年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT®Home Edition のスコアは認めない。
	小 論 文　　３月２日　９：３０～１１：００ 土木工学関連のテーマ
	基礎科目　　３月２日　１３：００～１４：００ 以下の４問から２問を選択すること。 微分積分(1 問)、線形代数(1 問)、確率統計(1 問)、生物・生態学(1 問)
	専門科目　　３月２日　１５：００～１６：００ 以下の３科目（社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学）から１科目を選択し、選択した科目内の２問を選択すること。 社会基盤デザイン学：構造工学(1 問)、コンクリート工学(1 問)、地盤工学(1 問) 水環境デザイン学：水理学(1 問)、河川工学(1 問)、水質工学(1 問)、環境計画(1 問) 都市システム計画学：計画数理(1 問)、交通計画(1 問)、交通工学(1 問)
	備　考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能を有する機器類の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲等は、以下の Web サイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html
口述試験	３月２日又は３月３日：試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものを含む）の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。（入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要）

【日程Ⅱ】
２０２７年４月
前期２年の課程　**早期卒業生選抜**

※　各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

	群番号２　　情報・生命系群
筆答試験	英　　語 入学試験初日から過去２年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートを出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report（受験者用スコアレポート）であり、TOEIC®Test の場合は Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）である。TOEFL iBT® Home Edition のスコアも認める。 TOEFL®Test Taker Score Report を送付する場合は、願書受付期間最終日２日前までに、志願者がスコアを本研究科に直送するよう各自受験者専用サイト ETS アカウント（My TOEFL Home）上で依頼すること（送付のための本研究科 DI コードは 2149）。
	基礎専門科目　　３月２日　９：４０～１１：２０（集合時間　９：００） 物理・情報系：電磁気学、電気回路、計算機ハードウェア、計算機ソフトウェア、物理、数学基礎の 6 題から 2 題選択 医学・生物系：バイオインフォマティクス、分子生物学、健康科学の 3 題から 2 題選択
	注１）受験する系（物理・情報あるいは医学・生物）を願書の専門試験科目群名（情報・生命系群）とあわせて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当（TEL:022-795-7185）に照会するか、あるいは https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ のウェブサイトで確認すること。 注２）成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口述試験	３月２日又は３月３日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 （成績証明書の内容によって口述試験を免除することがある） 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）及び入学後の研究希望等について 10 分程度で発表。 資料を５部持参のこと。

	群番号３　　機械・知能系群
筆答試験	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT Home Edition のスコアも認める。 スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートを提出できない場合は、出願を受理しない。指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。
	機械工学において必要とされる数学の基礎的知識を問う。 主たる範囲は以下のとおり。 ・数 学 Ａ　　３月２日　９：３０～１０：３０（集合時間　８：５０） 微積分、線形代数、ベクトル解析、など ・数 学 Ｂ　　３月２日　１３：００～１４：００ 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換、など
	備考： (1) 各科目の出題範囲については、工学研究科機械・知能系教務担当（TEL:022-795-7030）に照会するか、あるいは以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.mech.tohoku.ac.jp/examination/ (2) 電卓及び計算機能、通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。
	注意：成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口述試験	３月４日（対象者のみ） 原則として口述試験は実施しない。ただし、研究室への配属調整が必要な場合等には、３月４日に面接（オンライン）を実施する。 面接の対象となる者には、３月３日に連絡を行うため、当日の連絡および３月４日の予定には十分留意すること。

	群番号４　　土木工学群
筆答試験	英　　語 　入学試験実施日から過去２年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT®Home Edition のスコアは認めない。
	小 論 文　　３月２日　９：３０～１１：００ 土木工学関連のテーマ
	基礎科目　　３月２日　１３：００～１４：００ 以下の 4 問から 2 問を選択すること。 微分積分(1 問)、線形代数(1 問)、確率統計(1 問)、生物・生態学(1 問)
	専門科目　　３月２日　１５：００～１６：００ 以下の 3 科目（社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学）から 1 科目を選択し、選択した科目内の 2 問を選択すること。 社会基盤デザイン学：構造工学(1 問)、コンクリート工学(1 問)、地盤工学(1 問) 水環境デザイン学：水理学(1 問)、河川工学(1 問)、水質工学(1 問)、環境計画(1 問) 都市システム計画学：計画数理(1 問)、交通計画(1 問)、交通工学(1 問)
	備　考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能を有する機器類の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲等は、以下の Web サイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html
口述試験	３月２日又は３日：試験日時については別途連絡する。 　出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものを含む）の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。（入学願書の「口述試験発表テーマ」の欄は記入不要）

【日程Ⅱ】
２０２７年４月
前期２年の課程　**外国人留学生等選抜**

※　各群においては、成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがあります。

	群番号２　　情報・生命系群
筆答試験 **※**	基礎専門科目　　３月２日　９：４０～１１：２０（集合時間　９：００） 物理・情報系：電磁気学、電気回路、計算機ハードウェア、計算機ソフトウェア、物理、数学基礎の 6 題から 2 題選択 医学・生物系：バイオインフォマティクス、分子生物学、健康科学の 3 題から 2 題選択
	英　　語 入学試験初日から過去２年以内に受験した TOEFL®Test 又は TOEIC®Test のスコアシートを出願時に提出すること。スコアシートとは TOEFL®Test の場合は Test Taker Score Report（受験者用スコアレポート）であり、TOEIC®Test の場合は Digital Official Score Certificate（デジタル公式認定証）である。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアも認める。 TOEFL®Test Taker Score Report を送付する場合は、願書受付期間最終日２日前までに、志願者がスコアを本研究科に直送するよう各自受験者専用サイト ETS アカウント（My TOEFL Home）上で依頼すること（送付のための本研究科 DI コードは 2149）。
	注）　受験する系（物理・情報あるいは医学・生物）を願書の専門試験科目群名（情報・生命系群）と併せて記入すること。また、各科目の出題範囲については工学研究科電子情報システム・応物系教務担当（TEL:022-795-7185）に照会するか、あるいは https://www.ecei.tohoku.ac.jp/ecei_web/admission/ のウェブサイトで確認すること。
口述試験	３月２日又は３月３日　実施日、開始時刻については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）及び入学後の研究希望等について 10 分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料（A4 判用紙に記載したもの）を、当日５部持参すること。（本学出身の外国人留学生については上記の発表を免除することがある）

	群番号３　　機械・知能系群
筆答試験 **※**	英　　語 ５～７ページに記載にあるとおりに TOEFL もしくは TOEIC のスコアを提出すること。 TOEFL iBT® Home Edition のスコアも認める。 スコアシートの提出を免除された英語を母語とするネイティブの志願者を除き、願書受付期間内に、スコアシートを提出できない場合は、出願を受理しない。指定期日までに提出されなかった場合には、「不合格」とする。） スコアシートにおける Test Date スコアが基準（TOEFL-iBT 79 点または TOEIC 730 点）に満たない場合は「不合格」とする。
	機械工学において必要とされる数学の基礎的知識を問う。 主たる範囲は以下のとおり。 ・数 学 Ａ　　３月２日　９：３０～１０：３０（集合時間 ８：５０） 微積分、線形代数、ベクトル解析、など ・数 学 Ｂ　　３月２日　１３：００～１４：００ 常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換、など
	備考： (1) 各科目の出題範囲については、工学研究科機械・知能系教務担当（TEL:022-795-7030）に照会するか、あるいは以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.mech.tohoku.ac.jp/examination/ (2) 電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。
	注意：成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口述試験	３月４日 面接の日時・場所，試験時の注意事項等は専攻から通知する。 筆答試験で合格した者のみ面接試問を行う。 筆答試験の合否発表方法と時間は試験初日に連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）について 10 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）

	群番号４　　土木工学群
筆答試験 ※	英　　語 入学試験実施日から過去２年以内に受験した TOEFL®Test または TOEIC®公開テストのスコアシートを出願時に提出すること。 TOEFL iBT®Home Edition のスコアは認めない。
	基礎科目　　３月２日　１３：００～１４：００ 以下の 4 問から 2 問を選択すること。 微分積分(1 問)、線形代数(1 問)、確率統計(1 問)、生物・生態学(1 問)
	専門科目　　３月２日　１５：００～１６：００ 以下の 3 科目（社会基盤デザイン学、水環境デザイン学、都市システム計画学）から 1 科目を選択し、選択した科目内の 2 問を選択すること。 社会基盤デザイン学：構造工学(1 問)、コンクリート工学(1 問)、地盤工学(1 問) 水環境デザイン学：水理学(1 問)、河川工学(1 問)、水質工学(1 問)、環境計画(1 問) 都市システム計画学：計画数理(1 問)、交通計画(1 問)、交通工学(1 問)
	備　考 (1) 電卓・辞書及び計算機能や通信機能を有する機器類の使用は認めない。 (2) 過去の入試問題・出題範囲は、以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.civil.tohoku.ac.jp/admission/index.html
口述試験	３月２日又は３日：試験日時については別途連絡する。 出身大学で受けた教育の内容又は卒業論文（現在作成中のものも含む）の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。また、日本語能力についても判定する。

【日程Ⅱ】
２０２７年４月
前期２年の課程　**社会人選抜**

	群番号２　　情報・生命系群
口 述 試 験	３月２日又は３月３日　試験日時については別途連絡する。 　これまでの研究（業務）の内容及び入学後の研究希望等について 10 分程度で発表。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 5 部持参すること。

	群番号３　　機械・知能系群
筆 答 試 験	機械工学において必要とされる数学の基礎的知識を問う。 主たる範囲は以下のとおり。 ・数 学 Ａ　　３月２日　９：３０～１０：３０（集合時間　８：５０） 　微積分、線形代数、ベクトル解析、など ・数 学 Ｂ　　３月２日　１３：００～１４：００ 　常微分方程式、偏微分方程式、フーリエ変換・級数、ラプラス変換、など
	備考 (1) 各科目の出題範囲については、工学研究科機械・知能系教務担当（TEL:022-795-7030）に照会するか，あるいは以下のウェブサイトを参照すること。 https://www.mech.tohoku.ac.jp/examination/ (2) 電卓および計算機能，通信機能のある時計や電話機などの持ち込みを認めない。
	注意：成績証明書の内容によって筆答試験を免除することがある。
口 述 試 験	３月４日 　面接の日時・場所，試験時の注意事項等は専攻から通知する。 　筆答試験で合格した者のみ面接試問を行う。 　筆答試験の合否発表方法と時間は試験初日に連絡する。 　これまでの研究内容及び入学後の研究希望等について 10 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。英語の能力を問う場合もある。
	備　考 　提出書類による事前審査によって、筆答試験を免除することがある。 　詳細は機械・知能系群に問い合わせること。 　照会先：機械・知能系教務担当（TEL）022-795-7030

	群番号４　　土木工学群
小　論　文	３月２日　９：３０～１１：００ 土木工学関連のテーマ
口 述 試 験	３月２日又は３日　試験日時については別途連絡する。 　勤務先における研究・業務の内容を 10 分程度で発表（PC プロジェクター使用可）。発表の内容、志望動機、入学後の研究に関する希望等について試問する。なお、発表する内容に関する資料（発表要旨、図面等を A4 判用紙に記載したもの）を、当日 8 部持参すること。

２０２７年度東北大学大学院情報科学研究科「研究室(分野)一覧」

○各研究室（分野）の研究内容等は本研究科ウェブサイト（https://www.is.tohoku.ac.jp/jp/laboratory/）を参照してください。教員名が（未定）とある研究室は選べません。

【2026 年 11 月 1 日現在】

群番号	名称	講座名	研究室（分野）名	研究室番号	教員名	専攻
1	数学群	情報基礎数理学講座	情報基礎数理学Ⅰ	A01-1	教授　木村　元	情報基礎科学専攻
				A01-2	准教授　BAO YUANYUAN	
			情報基礎数理学Ⅱ	A02-1	教授　須川　敏幸	
				A02-2	准教授　松原=許　宰榮	
			情報基礎数理学Ⅲ	A03	教授　田中　太初	
			情報基礎数理学Ⅳ	A04	教授　宮島　信也	
		システム情報数理学講座	システム情報数理学Ⅰ	B01-1	教授　原田　昌晃	システム情報科学専攻
				B01-2	准教授　船野　敬	
			システム情報数理学Ⅱ	B02-1	教授　内藤　貫太	
				B02-2	准教授　根元多佳子	
			統計数理学	B03	教授　荒木由布子	
2	情報・生命系群	情報応用数理学講座	数理情報学	A05	教授　大関　真之	情報基礎科学専攻
		計算科学講座	計算機構論	A08	教授　青木　孝文 准教授　伊藤　康一	
			知能集積システム学	A09	教授　張山　昌論 准教授　ウィッデヤスーリヤ　羽士太	
		ソフトウェア科学講座	ファームウェア科学	A10	教授　川本　雄一 准教授　KOKETSU RODRIGUES TIAGO	
			ソフトウェア基礎科学	A11	教授　住井英二郎 准教授　松田　一孝	
			ワイヤレスネットワーク学	A22	教授　太田　香	
		情報論理学講座	情報論理学	A13	教授　中野　圭介	
		コミュニケーション論講座	コミュニケーション論	A14	教授　長谷川　剛	
		情報セキュリティ論講座	情報セキュリティ論	A16	教授　栗林　稔 准教授　酒井　正夫 准教授　磯邉　秀司	
		データ基礎情報学講座	データ基礎情報学	A18-1	教授　島田　尚	
				A18-2	准教授　三石　大	
		大規模データ数理最適化講座	大規模データ数理最適化	A21	教授　鈴木　顕	

群番号	名称	講座名	研究室（分野）名	研究室番号	教員名	専攻
2	情報・生命系群	知能情報科学講座	アルゴリズム論	B04	教授 周 暁** 准教授 田村 祐馬	システム情報科学専攻
			知能システム科学	B05	教授 篠原 歩 准教授 吉仲 亮	
			自然言語処理学	B06	教授 坂口 慶祐	
		生体システム情報学講座	情報生物学	B07	教授 大林 武	
			情報システム評価学	B08	教授 伊藤 健洋 准教授 全 眞嬉	
		音情報科学講座	音情報科学	B11	教授 坂本 修一	
		高次視覚情報学講座	高次視覚情報学	B12-1	教授 鯉田 孝和	システム情報科学専攻
				B12-2	教授 Chia- Huei Tseng	
		情報コンテンツ学講座	情報コンテンツ学	B13	教授 北村 喜文* 准教授 藤田 和之	
		ソフトウェア構成論講座	ソフトウェア構成論	B15	教授 海野 広志	
		人工知能基礎学講座	人工知能基礎学	B16	教授 鈴木 潤 准教授 赤間 怜奈	
		応用情報技術論講座	AI応用通信技術論	D16	教授 加藤 寧	応用情報科学専攻
		応用生命情報学講座	生命情報システム科学	D04	教授 木下 賢吾 准教授 西 羽美	
		情報通信ソフトウェア学講座	情報通信ソフトウェア学	D07-1	教授 中村 隆喜	
				D07-2	准教授 阿部 亨*	
		情報ネットワーク論講座	情報ネットワーク論	D08-1	教授 菅沼 拓夫	
				D08-2	准教授 後藤 英昭	
		ブレインファンクション集積学講座	ブレインファンクション集積学	D10	教授 山本 英明	
		健康情報学講座	健康情報学	D11	教授 鈴木 健弘 教授 伊藤 千裕 准教授 井上 淳 准教授 建部 俊介	
		先端応用データ科学講座	先端応用データ科学	D13-1	教授 志賀 元紀 准教授 孫 露	
				D13-2	教授 山田 和範	
		暗号プロトコル論講座	暗号プロトコル論	D15	教授 水木 敬明	
3	機械・知能系群	高性能計算論講座	高性能計算論	A15-1	教授 滝沢 寛之	情報基礎科学専攻
				A15-2	准教授 佐藤 雅之	
		先進的計算システム論講座	先進的計算システム論	A19-1	客員教授 佐野 健太郎※	
				A19-2	客員教授 佐藤 賢斗※	

群番号	称名	講座名	研究室（分野）名	研究室番号	教員名	専攻
3	機械・知能系群	知能ロボティクス学講座	イメージ解析学	B09	教授　岡谷　貴之	システム情報科学専攻
			知能制御システム学	B10-1	教授　橋本　浩一*	
			知能ロボティクス・AI分野	B18	教授　金﨑　朝子	
		融合流体情報学講座	融合流体情報学	B14	教授　石本　　淳	
		実時間計算システム論講座	実時間計算システム論	B17	教授　鏡　　慎吾	
		応用情報技術論講座	身体性知能ロボット学	D03	教授　昆陽　雅司	応用情報科学専攻
		流動システム情報学講座	流動システム情報学	D09-1	教授　服部　裕司	
				D09-2	准教授　廣田　　真	
		タフ・サイバーフィジカルＡＩ学講座	タフ・サイバーフィジカルＡＩ学	D14	教授　大野　和則 准教授　岡田　佳都	
4	土木工学群	人間社会計画学講座	空間計画科学	C11-1	教授　倉内　文孝	人間社会情報科学専攻
				C11-2	准教授　井上　　亮	
			社会システム計画学	C12-1	教授　河野　達仁	
				C12-2	准教授　福本　潤也	
			交通制御学	C13-1	教授　赤松　　隆*	
				C13-2	准教授　佐津川　功季	
5	言語・メディア群	人間情報学講座	言語情報学	C01	准教授　齊藤　いつみ	人間社会情報科学専攻
			言語テキスト解析論	C06	教授　小川　芳樹	
		メディア情報学講座	メディア文化論	C14	准教授　坂田　邦子 准教授　半田　幸子	
			情報リテラシー論	C15-1	教授　和田　裕一	
				C15-2	准教授　長濱　　澄	
6	心理・哲学群	人間情報学講座	学習心理情報学	C02	准教授　細田　千尋	人間社会情報科学専攻
			認知心理情報学	C03	教授　松宮　一道	
			論理分析学	C05	教授　大森　　仁	
			世界哲学	C17	教授　GRAHAM PRIEST	
			哲学的論理学	C18	准教授　SHAWN STANDEFER	
		応用生命情報学講座	認知情報学	D06	教授　松宮　一道	応用情報科学専攻
7	社会科学群	社会政治情報学講座	コミュニケーション社会学	C07	教授　岡田　　彩	人間社会情報科学専攻
			政治コミュニケーション論	C08	准教授　原田　勝孝	
		社会経済情報学講座	都市社会経済システム分析	C09	准教授　伊藤　　亮	
			地域計量システム分析	C10	教授　藤原　直哉	

*印の教員は、２０２８年３月退職予定です。

**印の教員は、２０２９年３月退職予定です。

※印の教員を希望する場合は１１月１６日までに必ず情報科学研究科教務係にメールでお問合せください。

教務係　is-kyom@grp.tohoku.ac.jp